

本号4頁建て

▷盗聴法・刑訴法を廃案に 2面
▷大阪思想調査アンケート裁 3面
判、二審も勝訴

4月15日

第1821号

2016年

毎月5の日、月3回発行



1カ月300円(郵送料1部41円)
発行 日本国民救援会
〒113-8463 東京都文京区湯島
2-4-4 平和と労働センター内
電話 03(5842)5842
FAX 03(5842)5840
http://www.kyuenkai.org
eメール info@kyuenkai.org

のびのび選挙学習運動

(53号)

参院選までの自由な選挙めざし

兵庫・福崎町長選不当捜査事件

昨年12月の兵庫・福崎町長選で、候補者の後援会だよりを違法だとして、警察が町民の呼び出しを続けている問題で、3月23日、衆院法務委員会で日本共産党の清水忠史衆院議員が質問に立ち、違法捜査の実態を明かし、捜査の中止を求めました。



違法捜査を追及する清水忠史衆院議員(写真=清水忠史事務所)

発言席に立った清水議員は、まず岩城光英法相と土屋正忠総務副大臣に対して「政治家の後援会とはどんなイメージのものか」と質問。両氏は「特定政治家の活動を支える組織で、会報の発行も活動の一環だ」と答えました。次に、土屋副大臣の後援会ニュースを示して、公選法の挨拶規定で制限される「おかげさまで三選を果たし」とする

る文言について、「公選法では、挨拶も込めたニュースを配ることはできないが、後援会員に限定して読んでもらうことは、内部行為ですから問題ないですね」と確認。土屋副大臣は、「政治団体の中で政治的見解を述べることは、結社、思想信条、表現の自由を規定した憲法に許された行為だ」と述べ、後援会ニュースを発行すること、後援会員に読ませること自体に問題がないとする答弁を引き出しました。

「人権侵害、放置するのか」

共産党 清水議員 政府の姿勢ただし捜査中止求める

「執拗な呼び出しで恐怖症性不安障害、希死念慮が続いている。憲法が保障する権利や自由だけでなく身体生命まで脅かす違法捜査はただちにやめさせるべきではないか」と警察庁を追及。答弁した警察官は、「個別事案に回答できない」と言及を避け、「不偏不党、

弾圧狙う捜査 生命も脅かす 続いて清水議員は、選挙後、警官が毎日のように後援会役員の自宅を訪問し、出頭を求め続けている事実を示し、こうした行為が許されるのか、法務省に対し刑事訴訟法の規定をたどりました。答弁した法務官は、「被疑者やそれ以外の者でも、出頭を拒み、出頭後、いつでも退去できる」と回答し、警察の執拗で異常な呼び出しが違法な捜査であることを明白にさせました。

さらに清水議員は、呼び出しを受けている後援会員の診断書を示し、「執拗な呼び出しで恐怖症性不安障害、希死念慮が続いている。憲法が保障する権利や自由だけでなく身体生命まで脅かす違法捜査はただちにやめさせるべきではないか」と警察庁を追及。答弁した警察官は、「個別事案に回答できない」と言及を避け、「不偏不党、

また清水議員は、選挙

国会で違法捜査追及

弾圧の意図が浮き彫りに

衆院法務委

全国から激励を

地元の福崎町では、2月27日に「不当捜査をやめさせる会」を結成し、3月10日には福崎署抗議行動、3月16日には兵庫県警への抗議行動をおこないました。この事件についてメディアも取材に訪れ、インターネットの動画サイトで抗議行動の様子が紹介されたり、ネット上の口コミで拡散されるなど、事件の不当性が広がっています。しかし、依然として警察・検察の執拗な呼び出しは続いており、地元は警戒を強めています。福崎町では町民へ事実を知らせる宣伝を繰り返して、5月15日は報告集会を計画しています。

事件の地元へ

〈激励先〉〒650-0022 神戸市中央区元町通6-6-12 山本ビル 国民救援会兵庫本部 ☎078-351-0677 FAX・078(371)7376

選挙は自由 国連も勧告 国連も勧告 選挙は自由、国連も勧告。また清水議員は、選挙

運動の自由を大幅に規制した公職選挙法の問題点をあげて、2014年の国連自由権規約委員会が、「思想、良心、宗教の自由や表現の自由に対するいかなる制約も差し控えるべき」と厳しい言い方で日本政府に勧告していることを紹介し、「自由権規約委は日本の公選法は前近代的と批判している。その公選法を盾に弾圧がおこなわれている」と指摘しました。

渦巻

いま世界である動画が話題になっているらしい。道端でスポンの後ろのポケットからわざと財布を落として、日本人がどう反応するかというものだ。結果はといえば、何と！すべての人が落とし主に声をかけるなり、中にはすれ違いで逆方向になるにもかかわらず拾って追いかけてくれる人までいたというから、すばらしい国民性ではないか。ところが日本の政治家の中には人が見ていなければ、立法は言うに及ばず、プライベートまで人に言えないことをこそそしたりする政治家がいる。さらには犯罪まで犯している者がいる。これって逆転どころか異常な事態じゃないの国際的な批判を浴びそうだ。安倍さん、主権者である国民はこんなまじめです。それなのに主権者を守らないうろにさせて、暮らしてひっ迫させたり、保育所に落ちた人を攻撃のやり玉にあげたり何なんですか。まして民主主義の根幹である言論の自由を敵視し「停波」発言まで。批判するものは許さないという傲慢さ、必ず近いうちに目にも見ると思うよ。(T)